

2. 沖ノ鳥島の管理の充実

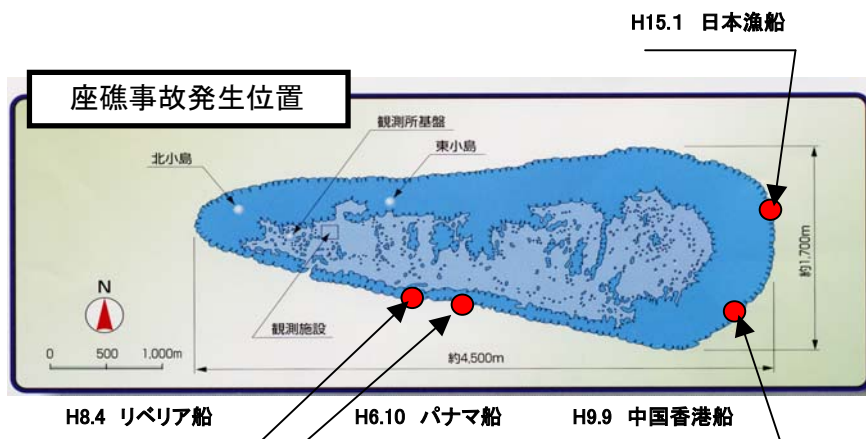
○施策の目的

沖ノ鳥島は、我が国の国土面積を上回る、約40万平方キロメートルの排他的経済水域を有する極めて重要な島です。現在、海岸保全区域に指定し、国が直轄管理をしています。維持管理の充実が求められています。

○施策の概要

平成6年以降、4回もリーフ部分に船舶が座礁しており、海岸そのものが損傷を受けるおそれがあります。このため、レーダー及び自動船舶識別システムを導入(新規)し、接近する船舶に対して信号を送ることで、座礁による海岸及び海岸保全施設等の損傷を未然に防止します。

また、荒天時にも円滑に維持管理工事を遂行したり、災害を受けた時に迅速かつ的確に対応するため、管理用船舶の保有に向けた検討や、沖ノ鳥島の利活用を支援する施策の検討を行います。



【サンゴの海 救助を待つ】
沖ノ鳥島の環礁に乗り上げた中国船籍の貨物船。



※自動船舶識別装置(AIS: Automatic Identification System)

船舶に搭載し、識別符号、船名、位置、針路、船速、行き先などの船舶固有のデータを自動的に VHF 無線で送受信する装置。